

○副議長（黒田 昭雄君） 6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） ありがとうございます。

1点目の税の徴収漏れ、これ、やはりしっかりとした対応が必要です。これも当たり前の話です。市内の空き地や空き家が、外国資本による取得が増える可能性がありますけれども、これが今後、進まないように、どこかで終えるような、そういったことも必要と思っておりますので、今年の2月から運用開始されました重要土地等規制法指定による特別注視区域指定地などの、特に、財産取引防止が必要かと思っておりますので、しっかりとした御対応をお願いできればなど思っております。

まだまだ言いたいことがいっぱいあったんですけども、まだ始まったばかりで、市長のほうも御回答も大変苦しい状況と存じますので、この問題につきましては、また今後ともしっかりとした御対応、取組をお願いをして、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（黒田 昭雄君） これで、伊原徹君の質問は終わりました。

○副議長（黒田 昭雄君） 暫時休憩します。再開は13時55分からとします。

午後1時42分休憩

午後1時55分再開

○副議長（黒田 昭雄君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。3番、神宮保夫君。

○議員（3番 神宮 保夫君） 皆さん、こんにちは。

本日のトリ、また今週のトリを務めさせていただきます。新政会、3番議員、神宮です。よろしく申し上げます。

ロシア・ウクライナ紛争から1年がたち、それによって燃油の高騰、物価の高騰、そして賃金が高くなり、対馬の商売人が苦戦しております。どうか市民の皆様、経済活性化のためにたくさんの買物をお願いします。

また、公務員の皆様にもお願いがあります。コロナの影響により出不精になっているでしょうが、夜の街のために飲み会をどんどんしてください。よろしく申し上げます。

また、市長にもお願いがあります。市長選挙のときに巖原で言われた公約が、果たされていないと聞きます。あと1年ありますので、どうか果たされるように頑張ってください。お願いします。

では、本題に入ります。

まず1つ目の質問は、天道茂にある警察官舎のことです。

そこに隣接する道路は、車からの死角が多くて、道路も狭く、交通事故が多いところです。また、建物等も50年から60年以上たっていると思われます。塀はひびが入り、いつ倒れてもおかしくない状況です。建物も三、四年使われていないみたいで、もう住むことはないと思います。

この土地を市で購入していただき、地区のためになるような場所にしていただけないでしょうか。

そして、2つ目の質問は、巖原町阿連地区にある白浜から阿連小学校跡間の道路の整備のお願いです。

白浜は景観がよく、地元の人に愛されている海水浴場です。ですが、そこまで行くことが難しい状態になっています。どうか、浜まで行きやすい通路を造っていただけないでしょうか。また、そこから阿連小学校跡地まで100メートルぐらいの道が、よい状態ではないので、整備をしていただけないでしょうか。

それとまた、阿連漁港の防風ネットの件です。

ここ2年の大型台風により、大波堤を波とごみが乗り越え、船を着けられない状態になっております。どうか防風ネット延長をよろしくお願いします。

そして、3つ目の質問が、対馬真珠についての質問です。

今、対馬真珠は大変、景気がいいと聞いております。ですが、対馬真珠というブランドを耳にしたことがほとんどありません。PR不足と思うのもっとPRしてもらって、対馬ブランドを確立してはどうでしょうか。

そして、4つ目は、5月8日で新型コロナが5類への移行が決まりました。この2年間で一番傷んだ夜の街を活性化のために、以前、巖原の茶屋町で開催していた藤酔い祭りを再開してはいかがでしょうか。

以上、4つの質問、答弁をよろしく申し上げます。

○副議長（黒田 昭雄君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 神宮議員の質問にお答えいたします。

初めに、天道茂警察官舎及び塀の有効利用についてですが、私も警察官舎付近の道路状況を写真で確認をいたしました。カーブミラーの設置により、交通安全対策を講じてはおりますが、議員がおっしゃるように、警察官舎の塀及び木柵の影響により、双方から見えづらい状況であると認識しております。

交通安全上の土地・建物の購入を行い、その土地等の有効活用ということではありますが、基本的には、利用目的のない財産は取得はできないものと考えております。しかしながら、通学を含む歩行者の安全確保の観点から、何らかの対応ができないかと思っております。

対馬南警察署に確認したところ、官舎については解体の方向であるとのことですので、

それまでの間、運転者・歩行者の視界を広げる意味でも、対馬南警察署に相談しながら、木柵等の撤去などができないか検討したいと思います。

次に、阿連地区の海水浴場、白浜への通路及び旧阿連小学校への道の整備等についてでございます。

まず、海水浴場、白浜への御質問ですが、白浜は海水浴では利用されているものの、天然海岸の白浜であり、対馬市で指定している海水浴場ではないことを御理解願います。

この白浜への通路整備として、河川への下り口については、上流側で大雨時に越水している状況を鑑みますと、河川に階段・スロープ等を設置することによって、下流の河道幅を狭くし、越水を誘発するため、困難であると考えます。

次に、阿連小学校方向への県道との接続までの道路の整備及び河川への蓋の設置についてでございます。

御質問の道路の整備については、平成11年度に着手しました漁業集落環境整備事業の事業計画において、計画はあったものの、土地所有者の同意を得られず、未整備となった経緯がございます。

河川に蓋を設置して道路を拡幅とのことですが、大雨時に越水していることを考慮いたしますと、蓋をすることにより流木等が河川を塞ぎ、水流を遮断する恐れがあるため、非常に困難な状況であると考えます。

次に、阿連漁港の防風ネットの新設についてでございますが、今回、御質問の防風施設設置要望箇所は、大正末期に旧佐須村事業として、河口船留を目的に建設された石積堤であり、漁港指定後の整備により、先端部に南防波堤約85メートルの建設及び港外側への消波ブロック設置、港内側へ物揚場の設置などの改修を行い、現在は、南防波堤の取付護岸となっております。

南防波堤の防風施設設置につきましては、漁港内に発生する風の影響を低減させ、漁船の安全な係留、陸上げ等、漁港内での作業効率及び安全性を向上させる目的で、平成28年に設置したものでありますが、整備時において、地区内への風の流れの変化などを危惧する声も聞かれておりました。

補助事業採択には様々な要件もございますが、市といたしましては、事業実施に向けた検討は可能と考えます。防風施設のような大きな整備におきましては、周辺環境への影響も考慮する必要があります。地域住民の同意が必要となりますので、議員におかれましては、地域での意見集約に御尽力いただき、改めて御要望をいただければと思います。

次に、対馬真珠のブランド化についてでございますが、初めに、対馬市における真珠養殖業につきましては、静穏な浅茅湾を中心に、現在39経営体において養殖が営まれており、雇用約350人を抱える主要産業となっております。

また、令和3年統計により、都道府県別で見ると、長崎県は全体取扱数量の41%を占めて第1位であり、対馬はその約半分を占める全国有数の生産地となっております。

対馬における真珠養殖業の歴史は古く、大正10年頃に養殖が開始され、昭和30年代半ば頃から生産拡大に取り組みながら、平成初期のピーク時には、組合員数が96経営体、真珠組合の共販額も40億を超える状況となっております。

その後は、組合員数、共販額ともに漸減傾向にあり、近年はコロナ禍の影響を直接受ける形で、入札会が長期間中止されるなど、大きな影響がありましたが、現在は、生産量は減少しているものの、中国市場の回復等需要増加に伴い、共販単価は非常に好調で、金額も前年度を上回る見込みとなっております。

対馬真珠のブランド化につきましては、ふるさと納税返礼品において、対馬産アコヤ真珠として登録しているほか、対馬産の真珠のみを使用した島外加工販売業者において一部流通しているものの、僅かな数量にとどまっております。

通常、真珠を加工品化する場合、同規格・同品質の真珠を1つの生産地で確保することは困難であり、生産地の混在により高品質な加工品に仕上げる傾向が主流であることから、対馬ブランドとして、対馬産に特化した加工品製造は、限定的になるものと考えられます。

また、真珠養殖業は、天候などの自然環境に大きく左右されるため、安定した品質確保は非常に難しく、消費者にとって、ジュエリーブランドのミキモトとかタサキ等でありますけれども、このジュエリーブランドに対する関心度は高いものの、産地をブランドとして重要視する傾向は低いと言われております。

このため、真珠組合や生産者の取組としては、加工品としてのブランド化よりも、加工原料としていかに高品質な真珠を入札会に出品できるかに注力しており、地区や生産者グループで情報交換を積極的に行いながら、品質の向上に取り組んでいるところでございます。

その成果として、入札会でも評価が高く、高値で取引されており、品評会でも数々の受賞につながっております。

最後に、藤酔い祭りについてでございますが、令和4年10月11日から実施されました全国旅行支援により徐々に人流が増し、観光需要をはじめ市内経済は回復へと向かいつつあります。

市では、1月から2月末までに25%を還元するキャッシュレス決済促進事業を実施し、消費の下支えによる事業者の支援を行ったところです。

この祭りについては、巖原の茶屋町の活性を図る必要な取組案の1つとして、御提案をいただいておりますが、市といたしましては、キャッシュレス決済促進事業のような全島広域的に効果をもたらす対策を行うことが、まず肝要であると考えております。

この祭りは、過去に巖原市内の飲食店などが連携し、藤の花に絡めた取組として実施されたと

承知しております。そのため、まずは巖原市内の飲食店等が主体となり、事業の組み立てを行うことが重要と考えております。

以上でございます。

○副議長（黒田 昭雄君） 3番、神宮保夫君。

○議員（3番 神宮 保夫君） 県警と、南警察署と相談の上、撤去に向けて動かれるということで、そこは、よい方向に向かうかなと思っています。どうもありがとうございます。

今、通学時間、子供たちが行くときに、高校から送り迎えの車が、どんどん上から下りてくるような状況で、その辺が今、危ない状況になっておりますので。ですから、撤去の時期を待たれないで、どうか塀だけでも、早めに取りかかっていただけないかと思いますが、市長、どうでしょうか。

○副議長（黒田 昭雄君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） まず、これ相手が、南警察署がいらっしゃいますので、南警察署のほうと今、いろいろと相談をしているということでございますので、そこらへんは、今後また、協議の中で、できるだけ早くすることが、可能かどうかを進めてまいりたいというふうに思っております。

○副議長（黒田 昭雄君） 3番、神宮保夫君。

○議員（3番 神宮 保夫君） 分かりました。

それで、その先の香月モータースから先です。あの辺ももう帰り、帰るときの、あそこの直線で、小学生とか高校生と一緒に並ぶ帰宅時間で、もう車が通ると、ほぼ両方に分かれて、危ない状況になっております。

あの辺に、ちょっと川側に歩道とか何か、そういうのはつけられないでしょうか。お伺いします。

○副議長（黒田 昭雄君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） その路線は、国道382号線から巖原本川の左岸側沿いに、約390メートルの路線であるというふうに思っておりますけども。

この路線について、現在では路線の計画はございませんけども、平成22年度から23年度にかけて、都市再生整備事業計画によりまして、排水工、そしてまた防護柵を改修いたしまして、少しでも車両や歩行者が通行しやすくなるように、整備をしているところでございます。

今、議員おっしゃるように、この路線は狭隘な地形でありまして、家屋が建ち並んでいるというようなことで、面的なサービス整備を行うことは困難であろうかというふうに判断しているところでございます。

○副議長（黒田 昭雄君） 3番、神宮保夫君。

○議員（3番 神宮 保夫君） ありがとうございます。なかなか厳しいということで、できるようでしたら、また、歩道を子供たちの安全のためによりしくお願いします。

そして、県警の、自分は天道茂に住んでいて、この県警の官舎を天道茂か中村辺りに欲しいという話を、もう探されているということ話を聞いたんです。そのあたりで、どうか天道茂辺り、もう土地が大分、空いてきていますので、そのあたり、宮谷とか棧原に警察官舎が空いたところがありますので、その辺りを購入していただき、そして、また天道茂辺りにそういう官舎をできるような土地を探していただき、そして、もちろん市が建てるということは無理でしょうから、土地を見つけてやって、そして、その土地の人と官舎を建てるような感じの契約をしてやって、融資が出やすい状況にして、そういうことは市としてはできないのでしょうか。

○副議長（黒田 昭雄君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 今の質問は、どうも意味がよく分からない。警察官舎を市で建てると言うようなことに私は聞こえたんですけど、どうなのでしょう。

○副議長（黒田 昭雄君） 3番、神宮保夫君。

○議員（3番 神宮 保夫君） すみません、言い方が悪かったです。土地が空いていますんで、市が建てるとかじゃなくて。市は官舎を建てられるように、地元の人と話を付けて、そして、融資が出やすいようにとか、そんなことは市としてはできないのでしょうか。

○副議長（黒田 昭雄君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） いやいや、要は警察官舎のことだと思いますけども、警察官舎は長崎県ですから。これは警察のほうで官舎は建てられるものであろうかというふうに思います。

そういうことで、市として警察官舎を建てることはあり得ないと思います。

○副議長（黒田 昭雄君） 3番、神宮保夫君。

○議員（3番 神宮 保夫君） すみません、分かりました。

では、2問目に進ませていただきます。

以前、集落から、要望があって計画したみたいですが断念したと聞きました。ですが、今はその時代と変わって、今、ゴースト・オブ・ツシマが出てきて、そして、阿連地区は、元寇跡の小茂田浜から金田城のちょうど中心点になります。箕形から、加志までのトンネルが開通したら、またもっと近くなります。それで阿連地区まで、一緒に観光を入れてみてはどうでしょうか。

この白浜は、干潮のとき沖まで遠浅になり、きれいな波ができて、サーフィンとか、ボディボード、カヌー、そして今、はやりのサップとか、そういうのに適した海岸です。

そして、また沖に出て左側に行けば、阿連の洞門、右に行けば隕石が落ちたと言われる星池。そしてまた、この浜には、ここにしか生息していないような小さなカニが生息しています。そのあたりを調査してみたらどうかと思います。

また、この地区、阿連には、日本最古の銀山、そして、オヒデリ様、炭焼窯、伝教大師最澄の記念碑、雷命神社。そして、丘からは、天気がよい日は、澄んだ日は韓国が見えますので、阿連小跡に電気自動車とかそのあたりを置いて、観光地めぐり。そして、そんなのはできるのではないのでしょうか。

この阿連小跡から白浜入口の整備を、今は難しいと思いますが、観光客が増えるようになったら、また整備のほど考えてください。よろしくをお願いします。

そして、どうか下り口だけでも、鉄のはしごとか、豊玉の川にあるような鉄のはしごぐらいやったら、できないものでしょうか。そうしたら、波の影響とか水害の影響とかないと思うんですけど、どうでしょうか。

○副議長（黒田 昭雄君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 先ほども説明しましたとおり、私もここの担当者といろいろ話をさせていただいたんですが、要は、どうもここの三面張り自体が、断面が少し不足をしているような状態でありまして、特に上流部のほうで大雨時には越水をしているというようなことでありますので、議員おっしゃる気持ちはよく理解はできますけど、なかなかそういった災害を誘発するような構造物は、行政として造ることは危険であろうかというふうに思っております。

ですから、地域の方々が便宜的に、そこにちょっと、夏場、海水浴のときだけ使われて、その以外は上げておくとか、そういったことは可能かとは思いますが、そのことについては、また地域とよくよく相談をしながら、できるものなら、そういった面についてはお手伝いできればなというふうには思います。

○副議長（黒田 昭雄君） 3番、神宮保夫君。

○議員（3番 神宮 保夫君） では、できるものならどうかよろしくお願いします。

では、次に行かせていただきます。

漁港の阿連の防風ネットの延長の件です。昨年台風のときに、古い防波堤を、消波ブロックを乗り越えて、波とごみが港湾の中に入ってきて、船を係留することができない状況になっておりました。

要望を集落の方が提出しようとしているのですが、僅かな反対により、取り下げてしまっている状況となっております。ですから、そのあたりを市役所職員さんが間に入って、そういう集落をまとめるとかそういうことはできないのでしょうか。

○副議長（黒田 昭雄君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 私も先ほども答弁いたしましたとおり、ここで阿連地域、阿連漁港として、ここに要望が出れば、漁港の長期計画のほうに計上をして、計画することは可能だというふうには思っております。

ただし、ここに、防風柵は要らないというような住民の方もいらっしゃるというような話を聞いておりますので、まずはその地域のほうで、阿連のほうで全体的な話をまとめた上で、要望をしていただければというふうに思います。

○副議長（黒田 昭雄君） 3番、神宮保夫君。

○議員（3番 神宮 保夫君） 分かりました。そのように伝えておきます。

また、せっかく、この新しい浮き桟橋ができていますので、それが今年大きな台風が来て壊れたりしたらいけないので、どうかその辺を早々にお願ひしたいと思います。

では、次に行かせてもらいます。

現在、対馬真珠は好景気を迎えているように思われます。全然、真珠という話を聞きません。空港・ホテル等にも置いてありますが、売れている形跡はありません。

先日、福岡放送で、福岡の相島が真珠を取り始めてまだ15年ということでしたが、ジュエリー会社のミキモトと提携して福岡で売り出すということを言っておりました。

また、他の番組では、パールコロッケとしてアコヤ貝の貝柱が入ったコロッケがよく売れているとありました。

対馬真珠は、今までテレビ等に取り上げられなくて、ブランドとしてできていなかったもので、これからタサキとかミキモトとかそういうところと提携しては、そういうことはできないんでしょうか。

○副議長（黒田 昭雄君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 先ほども答弁いたしましたとおりでございます。これは、うちの担当の職員のほうが直接、真珠組合に出向きまして、組合長さんや事務局長さんたちと、このことについていろいろと協議をしてきた上での答弁でございます。

要は、ミキモトとかタサキ等の、ジュエリーブランドとしての関心度は高いと考えてはいるんでしょうけども、その産地をブランドとして重要視する傾向は低いと。それよりもまして、対馬真珠としての品質の向上に尽力するほうが、対馬真珠業界としてはいいですよというようなことらしいです。

まして、そのほうが入札会での評価も高くなって、真珠業界としても、そのことが活性化のほうにつながりやすいということでございますので、御理解をお願いしたいと思います。

○副議長（黒田 昭雄君） 3番、神宮保夫君。

○議員（3番 神宮 保夫君） 分かりました。

どうか、対馬でも観光客等から、対馬でもそういう真珠のネックレスとか指輪とかそんなものが、当地のお薦めとして売れるように持っていつてもらいたいものと思います。

そして、こういう対馬真珠が、漁業者そして農業者さんとかを育成して、移住者を募集されて



いますが、それに、この景気がいい真珠養殖業者も入れて募集とかされたらどうかと思いますが、どうでしょうか。

○副議長（黒田 昭雄君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 要は、今現在、真珠養殖業界も、今350名ぐらいですかね、雇用が。そういう形で、雇用のほうが不足もしているというように聞いております。

議員おっしゃるように、外国人労働者の雇用が可能であれば、また、そういうふうには、真珠組合等と一緒に取り組んでまいりたいとは思っております。

それよりもまして、今、言われるように、私自身は対馬のブランド、真珠のブランド化っていうよりも、対馬島内で、やはりその対馬真珠を売っているその店舗が、むしろ少ないのではないかと。むしろそういった店舗のほうを、もう少し開拓して広げていくのが先決ではないのかなというふうには思っております。

○副議長（黒田 昭雄君） 3番、神宮保夫君。

○議員（3番 神宮 保夫君） はい、分かりました。いわゆる対馬にある免税店、韓国の、そういうところに、もしかしたら置かれたら、またきれいな陳列とかしているんで売れるのではないかと思います。どうか考えてみてください。

そして、この貝柱も意外とおいしくて有名です。対馬の。そのあたりがまだ冷凍保存しても、長期保存ができないので難しい、長期保存が難しい状況になりますが、そのあたりを長期保存できるようにそういうことをされてはいかがと思いますが、どうでしょうか。

○副議長（黒田 昭雄君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 確かに、アコヤ貝の貝柱は、私も刺身にして食べたり、空揚げにしたり、天ぷらにしたりということで、大変おいしゅうございますので、これが、そういったブランド化にできれば一番いいんですけど。聞いたところによりますと、従業員の方たちにまず分けるというようなことで、なかなか市中には、その量が出ていないということをお聞きしております。

○副議長（黒田 昭雄君） 3番、神宮保夫君。

○議員（3番 神宮 保夫君） 分かりました。こういうのが増えたら、本当の対馬の食材として売り込んでいけるかなと思いますので、取れるようになりましたら、また豊玉にも工場とかありますので、その辺りで加工して、いろんなものにして、対馬の食材として売り込んでいてもらいたいものと思います。

では最後、いきます。

やはり、一度なくなったイベントは、やっぱり予算がつけにくいというみたいで、しかし、そのときの予算は、市役所の観光課やったと思います。それを商工会にお願いして予算が下りたと思います。いつも商工会青年部が熱くて、活動も奉仕の気持ちでやっていた。最後は、場所的に

茶屋町より遠いところで、効果もなくなったと記憶しております。

ですが、そのとき、当時は全てのお店で格安で飲めたり、対馬中からホテルに泊まって参加されていたかと記憶しております。今でも続いていたら、観光イベントになっていたのではないかと思います。そのように店もホテルも酒店も、よい相乗効果が生まれますので、どうか考えてもらいたいんですけど。

対馬中、厳原だけということは厳しいと思われませんが、対馬の人たちは、厳原が元気にならんといいんと思われている方がほとんどだと思います。

ですから、そういうのを、コロナ禍で傷んだ飲食店を助けるためにも、こんなイベントをしていただきたいんですけど。

そしてまた、福岡、全国でベスト3に入るぐらいの、独身女性が多い県と言われております。昔、福岡のコンビニエンスストアとか提携して、対馬に女性を呼んで、商工会と食事したり釣りしたり、そういうことをしたこともありました。

女性限定で、旅費そのあたり、食費等を助成して、この対馬の独身男性と婚活イベントを、この藤酔い祭りでされたりそういうこともできるのではないのでしょうか。そうしたら、そういうのも、全て今までは、観光商工課とかがほとんど中心でされていましたが、飲食店組合の若手も増えてきておりますので、頑張る人がその辺に相談しながら、どうかやってもらいたいと思います。そうしたら、国とかその辺から、婚活イベントとか国から補助とか出ないのでしょうか。

○副議長（黒田 昭雄君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 何か、この藤酔い祭りにプラスされて婚活イベントまで出てまいりましたけど、確かにそういった形で、藤酔い祭りだけじゃなくて、そういった婚活イベントも交えたイベントとして計画されて、そこにまた商工会のほう为主体となってやっていきたいと思いますという形になれば、市としても予算的にも組みやすくなってまいりますので、もう少しそこら辺は、ただ単に藤酔い祭りに補助してくださいじゃなくて、そういった形で、もう少し計画を綿密にされたらいかかなというふうに思っております。

そしてまた婚活イベントのほうは、今、商工会とかほかの団体、3団体ほどで婚活イベントには、取り組まれている状況でございます。

○副議長（黒田 昭雄君） 3番、神宮保夫君。

○議員（3番 神宮 保夫君） ありがとうございます。対馬で商工会そして社協あたりが中心でされているみたいです。

なかなか対馬だけの婚活ということで、やっぱり恥ずかしくて行かれない方がたくさんいると思うんで、どうかあちらからも呼んで、こういう婚活イベントとか、特に飲みながらそういうことをしたら、話しやすいし、よい方向になっていくんじゃないかと思っております。

そして、また商工会あたりに話してみても、どうか活性化協議会あたりに、観光あたりに、話してみたいと思います。

そして、予算が多分、こんなものないと思うんで、今、自動販売機とか、メーカーから売上げのバックがあるようにありますよね、自動販売機の。（発言する者あり）ああ、そうですか。すみません。自動販売機、サントリーとかそういうコカ・コーラとか、メーカーから自動販売機の売上げのバックがあると思います。

そこで、前、アサヒスーパードライも長崎県と提携して、そういうバックとかあったんで、対馬市もそういう酒造メーカーとかその辺と提携して、そういうのとか考えていないんでしょうか、どうでしょうか。

○副議長（黒田 昭雄君） 通告外ということで、そろそろ収めていただきたいと思いますが、いかがでしょう。

○議員（3番 神宮 保夫君） 分かりました。

以上で、自分の質問を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

○副議長（黒田 昭雄君） これで、神宮保夫君の質問は終わりました。

---

○副議長（黒田 昭雄君） 以上で、本日予定しておりました市政一般質問は終わりました。

来週月曜日も引き続き、定刻より市政一般質問を行います。

本日はこれで散会とします。お疲れさまでした。

午後2時39分散会

---